

オンライン！カンボジア国における植林ボランティア研修 2021

2021年8月の全5日間(4日、6日、11日、13日、20日)で、オンライン植林ボランティア研修を開催しました。全27名(日本から12名、カンボジア国から15名の大学生・大学院生)が参加し、国籍を交えたグループワークを通して、英語でのディスカッション、講義、現地からのライブ配信による植林地視察や現地州森林局の職員との意見交換など、植林の重要性や持続可能な森林管理の現状と難しさについて、オンラインを通して体感いただきました。最終日には5つのグループが、“Promoting Reforestation in Kampong Cham Province, Cambodia -Approaches for Sustainable Forest Management-” 「カンボジア国コンポンチャム州における森林再生促進～持続可能な森林管理のためのアプローチ～」をテーマに、様々な視点から課題に対するアクションプランを発表し、“人と自然との共生の在り方”や“持続可能な開発”についても議論を深めました。5日間に渡る活動内容について紹介します。

1. 実施期間

2021年8月の全5日間(4日、6日、11日、13日、20日)

2. 実施時間

各日3時間

10:00～13:00(カンボジア時間)

12:00～15:00(日本時間)

3. 受講者

全27名の大学生・大学院生

(全4国籍、日本:12名、カンボジア国:15名)

4. 研修プログラムの内容

(1) グループワークを通じた英語での対話と国際交流

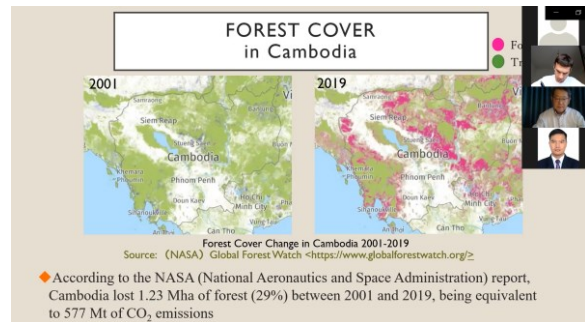
研修1日目は、主催団体紹介と自己紹介をして、受講者の皆さんに ERECON を知っていただくとともに、受講者同士の顔合わせをしました。また、事前課題の発表があり、「森林破壊の現状・原因とそれに対する取組み事例」について、各自で選択した国を題材にプレゼンテーション発表をしました。世界の森林破壊の現状・原因・取組み事例について情報共有をして、議論を通して課題を幅広く捉えていくと同時に、質疑応答を通してお互いをより知る機会にもなりました。その後、5グループに分かれ、今後バディとして協力し合うメンバーと顔合わせをしました。英語でコミュニケーションを図りながら、5日間の研修の中で多くのグループディスカッションやグループ課題に挑戦していき、同時に文化的な交流も深めていきました。

(2) 専門家による講義とグループディスカッション

研修1日目(8月4日)は、「カンボジア国における森林破壊の現状」について、専門家(三原真智人/東京農業大学教授)による講義がありました。受講者は、他国との比較の上で、カンボジア国における森林破壊の現状と原因の特徴について理解を深めていきました。グループワークでは、「森林破壊の原因と国間の相違点」が課題として与えられ、各グループは議論を通して各国における森林破壊の原因を比較し、発表をしました。

研修2日目(8月6日)は、「地球温暖化防止における森林保全の重要性」について専門家(上野貴司/ERECON 管理センター事務室長)による講義がありました。受講者は、“炭素貯留”の概要を理解し、地球温暖化防止における森林保全の重要性について理解を深めていきました。グループワークでは、「炭素貯留量を計算してみよう!」をテーマに植林による炭素貯留量の計算の実践を通してその方法を習得しました。

同日(8月6日)には、「森林の機能と役割について」について専門家(Mr. NUT Nareth/ERECON カンボジア支局長)による講義がありました。受講者は、森林の機能・役割と持続可能な森林



専門家による講義の様子(2)

管理における課題についての理解を深めていきました。グループワークでは、「植林を通じた持続可能な土地管理方法」について課題が与えられ、森林の機能と役割を活かした、持続可能な土地管理のための実践的かつ適用可能な方法について各グループが発表をいたしました。

研修3日目(8月11日)は、「コミュニティグリーンリングと参加型植林活動の重要性」について専門家(河邊久美子/ERECON 普及センター長および Mr. RIM Sarey/ERECON カンボジア支局スタッフ)による講義がありました。受講者は、コミュニティグリーンリングについて、および、参加型植林活動の意義や重要性について理解を深めていきました。グループワークでは、「植林活動および植林地管理への住民参加率を上げる方法」をテーマに、講義で学んだ様々な課題を背景に、住民参加率を上げるための方法についてグループで模索し、対応策についてグループ間で共有しました。

(3) ビデオ上映や現地からのライブ配信

研修3日目(8月11日)と4日目(8月13日)には、カンボジア国コンポンチャム州における植林活動の様子について様々なアクティビティを通して受講者に現場感を体感いただきました。

ショートビデオのセッションでは、「コンポンチャム州の各郡における植林活動の様子」が上映され、受講者は、現地の雰囲気、空気感を感じ取るとともに、どのように植林活動が実施されているのかを知り、その中で住民との協働作業における NGO スタッフが抱える課題について想像を膨らませていきました。

また、カンボジア国森林局の職員および現場での啓発活動にあたる現地 NGO スタッフ(ERECON の現地スタッフ)との対談を通して、現場の声を直接聞き、森林局の職員や現地 NGO スタッフが抱える課題の実態について改めて把握していきました。

現地からのライブ配信では、グーグルアースに乗って日本からカンボジア国への疑似渡航を体験し、日本とカンボジア国の位置や距離感、上空から見た都市や自然風景の違いを実感いただきました。現地には ERECON の現地スタッフがスタンバイし、植林地からの中継を通して、植林地の紹介、植栽した樹種と特徴につ



ビデオ上映の様子(3)

いての説明、適切な植林方法についてのレクチャー等、現場の空気感と共に生配信し、受講者は、植林方法を実際に見て学ぶとともに、現場の様子を視察し想像力を膨らませながら、座学知識と実践知識のギャップを認識し埋めていきました。



ビデオ上映の様子(3)

(4) 成果発表会

研修最終日(8月20日)には、外部からの参加者もオブザーバーとして募り、各グループは、“Promoting Reforestation in Kampong Cham Province, Cambodia-Approaches for Sustainable Forest Management-” 「カンボジア国コンポンチャム州における森林再生促進～持続可能な森林管理のためのアプローチ～」をテーマに、様々な視点から課題に対するアクションプランについて発表をしました。コメンテーターとして専門家3名(三原真智人/東京農業大学教授、山路永司/東京大学教授、河邊久美子/

ERECON 普及センター長)を招待し、各グループ発表に対するコメントをフィードバックするとともに、全てのグループの発表を受けて、「コンポンチャム州での持続可能な森林管理に向けた課題と展望」と題し、“人と自然との共生の在り方”や“持続可能な開発”の視点から議論を深めていきました。研修最後には修了式を行い、グループ写真を撮りました。

5. 参加者の声 (匿名)

- I really like this program because it provides a lot of forest related knowledge that I never knew before.
- Hopefully we will get a face-to-face program not only by online
- Thank you very much for providing us the opportunity to take a part of the program. It was well conceptualized and nicely organized. All lecturers and guest made interesting presentations. Hope next year we will be able to meet again and take a part in onsite activities.
- 今回のプログラムに参加したこと、とても貴重な体験が出来たと感じております。活動の経験を活かして環境問題への意識をより高めようと強く思います。本当にありがとうございました。
- Thanks for this program. I really enjoyed that made me know Japanese students and especially Japanese teachers and Cambodian teacher that gave a lot of knowledge for me. Thank you.
- The program was good, acceptable and it very useful but in some cases I didn't really comprehensions due to the language used.
- It is good to improve discussing skill and sharing Q and A with each other. But by the way, if it could I want to suggest that should make some video clip of improving reforestation. Thanks, I got a lot from this program.



グループ写真(4)